

1. プラチナ倶楽部慰問の記

古巣 B 2 の柏木さんから 9 月 1 日にプラチナ倶楽部で慰問のボランティアの演奏をするので参加しないかと お誘いがあった。帆船日本丸の精鋭が ダブルクアルテットを組んで 演奏をするというので とても資格はないなどは思ったが めくら蛇に怖じずとのたとえもあり また来年は 75 歳になり 後期高齢者の部類になるという事でもあり 恥はかきすてても良いかと 参加することにした。

2 回ほどの練習に参加 トップテナーの歌はまだまだ 慣れないけれど 美声の中野さんと米岡さんの驥尾に付して歌うならば まあ小さな声で歌えば 迷惑にはなるまいと 納得した。

9 月 1 日午前 10 時 港南台駅に集まり プラチナ倶楽部の稲森顧問の出迎えを受け 車で一路プラチナ倶楽部へ。

総勢 10 名 指揮 T 2 の小永井 T 1 中野 米岡 高橋 T 2 丸山 椎野 B 1 高野 原田 B 2 柏木 岩尾 (こうして眺めると T 1 だけが 3 名で 一名よけいみたい) 控え室で着替えをし 小さい声で 音出しをした。

用意が出来ましたという 稲森さんの声で 一同 大広間へ。40 名あまりの人が お待ちかね。

男性は 10 名ほど 他は女性 デイサービスを利用している人もおられ 全員がこのホームに暮らしておられるのでは無いようだ。



女性の半数は 興味のありそうな顔 残り はまあ 無表情

男性は総じて無表情だ。

稲森顧問が 帆船日本丸男声合唱団の紹介をやや大げさにしてください。

早速 第一部 まず「Sailing, Sailing」(米岡さんが ソロを。山路さんの重厚なソロも素晴らしいが テナーのソロも良いなと聞き惚れる)

そして 「うみ」「海にむかって」「SIX PENCE」「モッスルマン」「Mexico」

小永井さんの指揮で まあ無難に演奏できた。

英語の歌は どのくらい興味をもって聴いてくれたかちょっと心許ないが まあ 帆船日本丸男声合唱団の聴かせどころだから やむを得ない。

そして 第 2 部 まず 今月お誕生日を迎える男性一名 女性一名 前に椅子を用意して 座ってもらい {ハッピーバースデー} を歌う。脳梗塞で表情の少ない 男性も少しは嬉しそう、女性はあとの 斉唱でも大きな声で歌ってくれた人で

ハッピーバースデーにも嬉しそうにしてくれこちらでも楽しかった。

あとは 原田さんのピアノの前奏と伴奏で 斉唱をする。

「夏の思い出」「赤とんぼ」「紅葉」「ふるさと」「瀬戸の花嫁」

そして 最後に「さようなら みなさま」を歌って おしまいにした。

歌詞も用意してあったが みんな懐かしい よく知られている歌なので まあ 半数の人たちは 楽しそうに歌ってくれた。私も 中野さんや 米岡さんに負けないように 大きな声でうたった。

大町先生の 開港記念館での「大町正人と歌おう会」のような 斉唱は 参加者のストレス解消にもなるし 楽しくて 私は大好きである。

このような 慰問の演奏会でも もっと沢山歌っても良いのではないかと おもう。

約 1 時間ほどの演奏を終わり 車で洋光台駅まで送ってもらい 駅そばの 一膳飯屋で ビールと 季節の秋刀魚焼き魚定食で 簡単な打ち上げをして 解散した。(T 1 高橋さん)

2. タイフェア

10 月 27 日と 28 日の土日はタイフェアへの出演が決まっていた。しかし目前に台風が急接近、朝になって本当にやるのかなと思ってメールを見たら「雨天決行」とのこと。やや重い足取りで会場に向かう。そのせいで少し遅刻してしまう。

到着時に舞台ではムエタイ(キックボクシング)をやっていた。おう、なかなか立派な舞台ではないか、と心が躍る。そして、風雨の吹き込む楽屋で待機。ところが、ますますひどくなるとの予報に本日はナシ。TKOを喰らった感じだ。しかし 500 円の食券を貰ったので、ニコニコとタイ料理を食べて帰る。

翌 28 日、抜けるような晴天、お客さまも大勢繰り出し、賑やかな会場。多くの人々はタイ料理とひなたぼっこに専念していたが、ものともせず、音は届くだろうと、2 日分まとめて歌いました。良い天気すぎて、テナーパートは日射の直撃を受け、とても眩しかったと思います。



そして今日は食券に数百円を継ぎ足して、タイビールと辛い料理。お疲れさまでした。